

第7章 高齢者の生活実態・志向調査について

1. アンケート調査を実施するに至った経緯

(1) 第二期の重点課題との取り組みを進めるために

第一章で述べたように、第二期の第二分科会は、健常高齢者への施策と高齢社会を支える基盤整備の二つの分野を重点的に取り組む課題と定めた。しかし、今後、私達がこれらの課題と取り組み、この分野の板橋区政に実効性があり且つ実現可能な指針や施策を提言するなど、より具体的な成果を挙げることを目指すには、第二分科会としては、改めてこの関連分野における実情を把握する必要があると考えます。

それは、次のような理由による。

先ず、板橋区と大東文化大学の知恵と工夫を集めて、第二期の第二分科会の重点課題に関する具体的な施策などを提言するには、実態から遊離した想定上のレベルで課題を考えるわけには行かないからである。どこに、どういった性格のニーズがあるのかをきちんと踏まえた上でないと、実態に即した施策提言などできるわけではない。今期の第二分科会が模索しようとする分野の需要構造の解明は、私達が真っ先に取り組んでおかなければならない課題なのである。

また、厳しい財政環境の下で、限りある資源をより効率的に活かして区民福祉の最大化を図るには、どこに、どれだけのニーズがあるのかについても、ある程度詳しく、具体的に把握しておかなければならない。第一期で特に重点的に取り組んだ要援護高齢者への対応は、元来基礎的自治体に取り組むべき責務と位置付けられている課題であり、限りある資源をできる限り有効に投入して現在するにニーズを充たしていくことは、いわばアプリアリに受け止められる。しかし、今回第二分科会が重点的に目を向けようとする対象は、要援護高齢者の外延に圧倒的多数存在する、い

わゆるアクティブシニアとその潜在的候補者群である。数の上では遥かに多数を占めると考えられるこの範疇の「区民」のニーズに応えることは、量的な面から言えば極めて大きな効果をもたらすものと容易に予想できるものの、現在の自治制度の下で基礎的自治体が本来対応することになっている性質のニーズへの対応を押しつけてまで取り組まなければならない課題と位置付けるのは容易ではない。しかし、健常高齢者が活力ある社会のアクティブメンバーで有りつづけ、その中から要援護高齢者が発現する可能性を最小限に抑えこむことができるとすれば、少なくとも一種の機会費用として、健常高齢者群に対して施策の光を当てることに十分な正当性を認めることができると考えられる。

第二分科会が、今後多様な側面から検討し、政策提言を行うことを目指す対象の全体像とその需要構造を解明しておくことは、予め提言の有効性及び優先順位を推し量る尺度を持つておくという意味からも、欠くことのできないステップというべきである。以上の判断から、私達は、健常者も含めた高齢者群全体を対象とするアンケート調査の実施を決めた。

(2) ダイナミックな構造分析も視野に入れて

しかし、今回第二分科会が取り組もうとする範囲の実態調査は、これまで全く先例がなかったわけではない。国の高齢者白書等も、近年は特にこの対象の実態解明に力を入れている。更に、私達が今回特に着目したのは、板橋区が平成10年5月に、既に「板橋区高齢者 生活実態・志向調査」を実施していたことである。前回のこの調査は、その後の板橋区健康福祉施策を推進するための基礎資料を収集する目的で実施されたものであり、分析のねらいは、今回の私達の問題意識と共通する部分が多い。しかし、前項で述べたような背景も影響してか、その後同様の調査は行われなのまま、今日に至っている。

私達は、今回のアンケートの調査設計に当たって、これらの先行事例との関連性を保つことに特に意を用いた。全国を対象とした国の調査との比較は、板橋区と言う地域での特性を浮き彫りに

することを可能にするであろう。また、平成10年における板橋区の調査との比較分析もできるようにすれば、この間のこの地域における社会構造の変化とクロスさせて分析することにより、この先数年のスパンにおける需要構造の動向をも見通した施策の検討も可能になると考えられる。

このような視点に立って私達は、次節に掲げるような内容のアンケート調査票を調製した。今後、私達はこの調査票を用いて実態調査を実施し、来年度も引き続き進めていく当分科会の検討作業を深めるのに活かしていきたいと考えている。

高齢者の生活実態・志向調査

調査票

【調査のお願い】

この度、板橋区と大東文化大学の共同研究の一貫として、「高齢者の生活実態・志向調査」を実施することになりました。

調査の対象者としましては、区民のみなさんの中から、65～74歳の方400人を無作為に選びました。

お手数をおかけしますが、どうぞ、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願いいたします。

平成15年〇月

地域デザインフォーラム
板橋区・大東文化大学

《記入上のご注意》

- 1 あて名のご本人が記入して下さい。病気などにより、ご本人が記入できない場合は、ご本人からお開きのうえ、ご家族の方が記入して下さい。
- 2 筆記用具は、鉛筆やボールペンなどをお使いください。
- 3 該当する数字を○で囲んでください。
- 4 矢印(→)のある質問は、それに沿ってお答えください。
- 5 「その他」を選び()がある場合は、その内容を記入してください。

(調査票の返送) 平成15年〇月〇日(○)までに同封の封筒に調査票を入れて郵便ポストへ投函してください。切手を貼る必要はありません。

(連絡先) 調査の内容や記入の方法などについてのお問合せは、
まで、お願い致します。

【問1】 あなたの性別は

- 1 男 2 女

【問2】 あなたの年齢は

- 1 65～69歳 2 70～74歳

【問3】 現在あなたは不安や悩みごとがありますか。該当するものを2つ以内で選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 世話をしてくれる人がいない | 2 親しい友人がいない |
| 3 近所の人たちとの交流がない | 4 健康に自信がない |
| 5 子供や親戚の者との関係が良くない | 6 財産管理 |
| 7 家計が苦しい | 8 特にない |
| 9 その他 | |

【問4】 あなたの家族構成は

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 一人暮らし | 2 夫婦のみ | 3 未婚の子供と同居 |
| 4 子供夫婦と同居 | 5 子供夫婦、孫と同居 | 6 その他 |

【問5】 お住まいは次のどれですか。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 一戸建て持ち家 | 2 分譲マンション |
| 3 一戸建て借家 | 4 賃貸マンション |
| 5 アパート | 6 都・区営住宅 |
| 7 区立高齢者住宅（けやき苑） | 8 賃貸の公団・公社住宅 |
| 9 その他 | |

【問6】 夫婦二人の（一人の場合はあなたご自身の）平成14年の収入（税込）はいくらでしたか。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 100万円未満 | 2 100～200万円未満 |
| 3 200万円～400万円未満 | 4 400～600万円未満 |
| 5 600万円以上 | |

【問6-2】 そのうち、金額の多いものから2つ選んでください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 自分や配偶者の仕事の収入 | 2 自分や配偶者の年金、恩給 |
| 3 仕送り | 4 地代、家賃 |
| 5 生活保護 | 6 老人福祉手当 |
| 7 利子 | 8 その他 |

【問7】 現在、あなたは打ち込めることがありますか。2つ以内で選んでください。

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1 仕事、働くこと | 2 趣味やレジャー | 3 スポーツや運動 |
| 4 自分で勉強すること | 5 友人、隣人との交流 | |
| 6 地域活動・社会活動 | 7 ボランティア活動 | 8 特に無い |
| 9 その他（_____） | | |

【問8】 機会があれば、活かしてみたいものは何ですか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 仕事での経験・能力 | （具体的に：_____） |
| 2 持っている技術・技能 | （具体的に：_____） |
| 3 持っている資格 | （具体的に：_____） |
| 4 趣味 | （具体的に：_____） |
| 5 その他 | （具体的に：_____） |

【問9】 あなたは現在働いていますか。

- 1 働いている 2 働いていない

【問9-1】 あなたの職業は何ですか。

- 1 会社、団体の経営者、役員 2 会社、団体の従業員
3 商店、工場、開業医などの個人経営
4 マンション経営、賃貸業 5 自由業
6 臨時、パート、内職 7 公的機関の役員等

【問9-2】 働いている主な理由を1つだけ選んでください。

- 1 生活の収入を得るため 2 こづかい程度の収入を得るため
3 健康のため 4 友人がほしいから
5 自分の能力を活かしたいから
6 生きがいを得たいから 7 何もしないと退屈だから
8 その他 ()

(※次は、問11へ)

【問9-3】 現在働いていない理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 自分にあった仕事がないから 2 働き口がないから
3 経済的に困っていないから 4 病気がちであるから
5 他にやりたいことがあるから 6 家族が反対するから
7 働いたことがないから 8 働きたくないから
9 その他 ()

【問9-4】 今後、適当な仕事があったら働きたいと思いますか。

- 1 働きたい 2 働きたくない 3 働けない

【問9-5】 働きたいと思っている理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 生活の収入を得るため 2 こづかい程度の収入を得るため
3 健康のため 4 友人がほしいから
5 自分の能力を活かしたいから
6 生きがいを得たいから 7 何もしないと退屈だから
8 その他 ()

【問10】 高齢者の就業を促進するために、板橋区に次の機関がありますがご存じですか。また、最近1年間に利用したことがありますか。

シルバー人材センター	1 最近1年間に利用した 2 知っているが利用していない 3 知らない
区立授産場	1 最近1年間に利用した 2 知っているが利用していない 3 知らない
高齢者就業相談	1 最近1年間に利用した 2 知っているが利用していない 3 知らない

【問 10-2】 問 11 で「最近 1 年間に利用した」と回答した方に伺います。
利用した結果満足していますか。

シルバー人材センター	1 満足である 2 まあまあ満足である 3 不満である
区立授産場	1 満足である 2 まあまあ満足である 3 不満である
高齢者就業相談	1 満足である 2 まあまあ満足である 3 不満である

【問 10-3】 問 11 で一つでも「知っているが利用していない」と回答した方に伺います。それはどのような理由からですか。主なものを 2 つ選んでください。

- 1 利用する必要があるから
- 2 手続きがめんどうだから
- 3 どのような手続きが必要なのか分からないから
- 4 家族がいやがるから
- 5 利用したくないから
- 6 特になし
- 7 その他 (.....)

【問 11】 あなたは次のような活動を何かしていますか。該当するものを全て選んでください。

- 1 在宅の高齢者の話相手
- 2 在宅の高齢者の身の回りの世話
- 3 在宅の高齢者などへの給食サービス
- 4 老人ホームなど施設での手伝い
- 5 博物館・動物園などの公共施設での案内
- 6 公園や近所の清掃
- 7 趣味やレクリエーションの指導・世話
- 8 小学生等の学習指導や世話
- 9 心身障害者のための手伝い
- 10 その他 (.....)
- 11 特に活動していない

【問 11-2】 活動している方に伺います。活動を始めるきっかけは何ですか。

- 1 友人・知人に誘われたから
- 2 家族が施設で世話になったから
- 3 ボランティア講座を受けたから
- 4 ボランティアセンターで紹介されたから
- 5 区の広報などで知ったから
- 6 その他 (.....)

【問 11-3】 現在、何も活動していない方にお伺いします。
活動をしていない理由は何ですか。

- 1 したいが、相談窓口や活動内容など情報が得られない
- 2 したいが、活動時間が合わない
- 3 したいが自分の希望する活動がない
- 4 したくない
- 5 特に関心がないから
- 6 その他 (_____)

【問 11-4】 どのような活動をしたいと思いますか。

- 1 在宅の高齢者の話相手
- 2 在宅の高齢者の身の回りの世話
- 3 在宅の高齢者などへの給食サービス
- 4 老人ホームなど施設での手伝い
- 5 博物館・動物園などの公共施設での案内
- 6 公園や近所の清掃
- 7 趣味やレクリエーションの指導・世話
- 8 児童の学習指導や世話
- 9 心身障害者のための手伝い
- 10 その他 (_____)

【問 12】 あなたは活動に参加する場合、費用や報酬についてどう思いますか。

- 1 一定の報酬があった方がよい
- 2 交通費の実費や昼食代はあったほうがよい
- 3 金銭的な報酬ではなく、活動した時間が蓄積され、自分が必要となったとき、サービスとして還元されるのがよい
- 4 報酬も実費も必要ない
- 5 その他 (_____)

【問 13】 これまで区や民間機関が主催する生涯学習講座に参加したことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

【問 13-2】 どのような講座に参加しましたか。

- 1 板橋区のグリーンカレッジ
- 2 大東文化大学の公開講座
- 3 区内の大学の公開講座 (大東文化大学以外)
- 4 朝日カルチャーセンターなど民間のカルチャーセンターの講座
- 5 その他 (_____)

【問 13-3】 今後、機会があれば参加してみたいと思いますか。

- 1 思う
- 2 思わない

【問 14】 講座に参加する場合、どのようなことを重視しますか。

- 1 興味のある講座があるかどうか
- 2 都合のよい曜日、時間帯かどうか
- 3 学習方法や人数が自分にあっているかどうか
- 4 指導を受けたい担当講師がいるかどうか
- 5 受講料が手頃であるかどうか
- 6 知人・友人がいっしょに受講するかどうか
- 7 その他（ _____ ）

【問 15】 今後、どのような学習内容の講座があれば受講してみたいですか。

1 外国語（次の①～⑩のうち、希望する外国語にも○を付けてください）

- | | | |
|-------------------|---------|---------|
| ① 英語 | ② ドイツ語 | ③ フランス語 |
| ④ スペイン語 | ⑤ 中国語 | ⑥ 朝鮮語 |
| ⑦ インドネシア語 | ⑧ ベトナム語 | ⑨ アラビア語 |
| ⑩ その他の言語（ _____ ） | | |

- 2 商業実務・ビジネス関係
- 3 医学・健康
- 4 スポーツ
- 5 調理・栄養
- 6 教育・心理
- 7 社会福祉・介護
- 8 文芸・芸術
- 9 歴史（日本史、西洋史、東洋史）
- 10 郷土史
- 11 政治・経済（時事問題）
- 12 パソコン
- 13 資格取得を目的とする講座 →（取得したい資格： _____ ）
- 14 その他（ _____ ）

【問 16】 板橋区の就業施策、地域・社会活動施策、生涯学習施策についてご意見、ご希望などがあれば記入してください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

執筆者一覧

●大東文化大学

- 東田 親 司……………第 1 章
法学部政治学科教授
- 花 輪 宗 命……………第 7 章 1
経済学部社会経済学科教授
- 富 井 幸 雄……………第 5 章
国際関係学部国際文化学科助教授
- 新 里 孝 一……………第 4 章
国際関係学部国際関係学科助教授

●板橋区

- 安 井 賢 光……………第 2 章 (1) (2) (3)
健康生きがい部長
- 白 石 淳……………第 2 章 (4)
介護保険課長
- 小 池 喜美子……………第 3 章
板橋福祉事務所障害者支援係長
- 杉 谷 明……………第 7 章 (2)
住宅課長
- 富 澤 賢 一……………第 6 章
監査委員事務局行政主査

地域デザインフォーラム・ブックレット No.3

高齢者の社会参加の促進

発行者／大東文化大学 国際比較政治研究所
地域連携研究班（代表）中村昭雄
〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1
電 話 03-5399-7341 FAX 03-5399-7379
発 行 2003年 3月31日

印刷・製本／株式会社 アップル・プレス